



ナショナル リーディングコーチ 養成系列

World Class Coaching with Open Communication
and Global Mindset

●本系列の目指すところ

- ・ スポーツ界をリードする国際的な人材の育成
競技種目で国をリードする監督・コーチとなり、将来的に統括組織（IF/NF）で指導的役職に就くことが期待される人材を養成します。
- ・ キャリアアップを目指した大学院教育
大学などの教育機関において、国のコーチ教育を先導的に担っていく人材を養成します。

●本系列で養成される能力や特質

- ・ 独創性のある卓越したコーチング能力
- ・ コーチングに要求される高度なマネジメント能力
- ・ 日本文化の理解を礎とした豊かな国際性

●学位 修士（体育学）

本プログラムの修了により、「修士（体育学）」の学位が得られます

●入学試験

筑波大学大学院・人間総合科学学術院体育学学位プログラム
7月実施推薦入学試験（一般入学試験・社会人特別選抜）
10月実施（一般入学試験・社会人特別選抜）

●入試日程

7月実施推薦入学試験（一般入学試験・社会人特別選抜）
2026年 5月下旬 web出願受付開始
2026年7月7日 推薦入試

10月実施（一般入学試験・社会人特別選抜）
2026年9月上旬 出願
2026年10月 試験

募集要項および出願書類は下記サイトからダウンロードできます。
https://www.ap-graduate.tsukuba.ac.jp/course/chs/taigei_first/
（令和9年度版は2026年4月下旬に公開予定です）

* 志望する指導教員にナショナルリーディングコーチ養成系列を履修希望であることを伝えること。



● 7月実施推薦（社会人特別選抜）要件

* 7月実施推薦（社会人特別選抜）以外の入試内容に関しては、募集要項を確認すること。
下記のいずれかに該当し、出願者の実力や能力を熟知する2名の推薦者から推薦状が得られ、合格した場合には入学することを確約できること。

① プロなどの社会人競技で顕著な競技歴を有する者※1

※1 在学時にこれに該当する競技成績を取めた者も含む。ユニバーシアードなど学生のみが参加する競技の実績は該当しない。フル代表および各年齢段階の代表も指す。

② スポーツに関する顕著な指導実績を有する者※2

※2 国のフル代表または各年齢段階の代表における監督やコーチの経験がある者、JOCナショナルコーチアカデミーを修了した者（本年度中の修了見込みも含む）、または、これらの資格と同等とみなせる中央競技団体公認のトップレベル指導者資格、海外のトップレベル指導者資格を有する者。

● 7月実施推薦（社会人特別選抜）試験内容

試験は、書類審査（150点）と面接による口述試験（50点）を行います。

● 指導教員

本プログラムでは、体操競技、陸上競技、競泳、スケート、水球、バレーボール、バスケットボール、ハンドボール、サッカー、ラグビー、アメリカンフットボール、テニス、バドミントン、野球、卓球、柔道、剣道、弓道、の各種目において、高度な競技経験と優れた研究指導力を兼ね備えた教員が指導教員を務めます。

● オリンピアンの教員



平岡拓晃

柔道

'08 北京大会
60 kg級

'12 ロンドン大会
60 kg級(銀メダル)



河合季信

ショートトラック
スピードスケート

'88 カルガリー
冬季大会

'92 アルベールビル
冬季大会男子500m
リレー (銅メダル)



岡田弘隆

柔道

'88 ソウル大会
78kg級

'92 バルセロナ大会
86kg級 (銅メダル)



新竹優子

体操競技

'08 北京大会

'12 ロンドン大会



谷川 聡

陸上競技
110mハードル

'00 シドニー大会

'04 アテネ大会



山口 香

柔道

'88 ソウル大会
52kg級 (銅メダル)

● ナショナルリーディング養成系列 必修科目（例）

【基礎科目群】

- ・高度コーチングディスカッションⅠ（1単位）
- ・高度コーチングディスカッションⅡ（1単位）

【応用科目群】

- ・国際経験プレゼンテーション演習（1単位）
- ・日本文化論（宗教，思想，古典芸能など）（1単位）
- ・スポーツ指導者の英語実技（1単位）
- ・スポーツ指導者の英語実技実践（1単位）
- ・プログラム特別インターンシップ（3単位）

令和7年度入学者から
カリキュラムが新しく
なりました！

●修了生・在校生の声

中田久美

元バレーボール女子日本代表監督・元日本代表選手

指導とは、経験を重ねることだけではなく、その経験の本質を見つめ、その課題を見出し続ける営みだと感じています。筑波大学大学院では、競技経験を理論と結びつけ、コーチングの本質や課題設定の重要性を深く学び、向き合うことができました。ここから次世代のリーダーやコーチが育っていくことを期待しています。

「指導者とは、問い続けること」



平山 相太

元サッカー日本代表・元Jリーグ選手

ナショナルリーディングコーチ養成系列での学びは、これまで感覚で行ってきたプレーや指導を科学的・論理的に整理する機会となりました。また、それらを言語化する力を高める貴重な学びでもありました。今後はこの経験を生かし、次世代の選手育成に貢献していきたいと思います。

永瀬 貴規 (在校生)

リオデジャネイロオリンピック男子柔道81kg級 銅メダル
東京オリンピック男子柔道81kg級 金メダル
パリオリンピック男子柔道81kg級 金メダル

講義やディスカッションを通して、自身の経験を理論的に捉え直し、新たな視点を得ることができています。修了後はその学びを実践に還元し、競技力向上と次世代育成の両面からスポーツ界に貢献していきたいと考えています。



●オンライン進学相談会

毎年、4月末ごろを目安にオンライン進学相談会を実施しています。詳細は事前に筑波大学人間総合科学学術院体育学学位プログラムHP (<https://m-pehss.taiiku.tsukuba.ac.jp/>) に掲載される「ナショナルリーディング養成系列オンライン進学相談会のお知らせ」をご確認ください。

●お問い合わせ

ナショナルリーディングコーチ養成運営委員長
野中 由紀 nonaka.yuki.gp@u.tsukuba.ac.jp

※メールの際は◎を@に変えてください

